

作成日：2011 年 11 月 7 日

改訂日：2016 年 5 月 2 日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名 ハイクール ライトグリーン

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東 2 丁目 23 番 4 号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（建築用仕上げ材 等）

整理番号 AR-T036

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

分類の名称（分類基準は日本方式）：その他の有害性物質。

GHS 分類

急性毒性 経口	区分外	発がん性	区分 2
急性毒性 経皮	区分外	生殖毒性	区分外
急性毒性 吸入	区分外	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外	標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分外
眼損傷/刺激性	区分 2	吸引性呼吸器有害性	区分外
呼吸器感作性	区分外	水生環境有害性(急性)	区分 3
皮膚感作性	区分外	水生環境有害性(長期間)	区分 3
生殖細胞変異原生	区分外		

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

- ・ 強い眼刺激
- ・ 発がんのおそれの疑い
- ・ 水生生物に有害

- ・ 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

<安全対策>

- ・ 使用前に取扱い説明書を入手する。
- ・ 取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
- ・ 取扱い後は汚染個所をよく洗う。
- ・ 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
- ・ 必要な個人用保護具を使用する。

<救急処置>

- ・ 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受ける。
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受ける。

<保管>

- ・ 施錠して保管すること

<廃棄>

- ・ 内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

製品は混合物

化学名

アクリルエマルション

一般名

アクリルシリコン樹脂系合成樹脂エマルションペイント

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
エチレングリコールモノ- <i>n</i> -ブチルエーテル	1 未満	C ₆ H ₁₄ O ₂	(2)-407、(2)-2424	111-76-2
3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	1 未満	C ₉ H ₁₀ Cl ₂ N ₂ O	(3)-2194	330-54-1
酸化チタン(IV)	10~20	TiO ₂	(1)-558	13463-67-7
酸化第二スズ	1 未満	SnO ₂	(1)-551	18282-10-5
エチレングリコール	1 未満	C ₂ H ₆ O ₂	(2)-230	107-21-1
水酸化鉄(III)	2 未満	FeHO ₂	(1)-1073	20344-49-4

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：

- ・ 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
- ・ 溶剤、シンナーを使用してはならない。

- ・ 多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

目に入った場合：

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

- ・ 嘔吐物を飲み込ませてはならない。
- ・ 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
- ・ 負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

応急処置をする者の保護：

- ・ 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- ・ 適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤： 水、粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂が有効である。

火災時の特定危険有害性：この物自体には可燃性なし

消火を行う者への勧告： 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	作業の際には適切な保護具（ゴム又はプラスチック手袋、呼吸器用保護具、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項：	河川等へ排出され、環境へ影響を起こすことがないように注意する。
除去方法：	漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
二次災害の防止策：	付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

避けるべき保管条件

日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 装置は耐腐食性のある材料を用いて作ること。腐食性物質に、作業者が直接接触したり、暴露しないような配慮をすること。

管理濃度及び許容濃度：

成 分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2005)	ACGIH(2005)
エチレングリコール	—	—	STEL (上限値 100mg/m ³ (H))
エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル	—	—	TWA 20ppm
酸化チタン(IV)	—	—	TWA 10 mg/m ³
酸化第二スズ	—	—	TWA: 2mg-無機Sn/m ³
3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	—	—	TWA 10 mg/m ³

保護具

呼吸器用の保護具 呼吸用保護具を着用すること。
 目の保護具 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 皮膚及び身体への保護具 保護衣を着用する。保護手袋を着用する。
 適切な衛生対策 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状： 液体。
 色： ライトグリーン。
 臭い： 僅かアクリル臭。
 pH： 7.5～9.0。

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲：

融点： データなし。
 凝固点： データなし。
 沸点： 製品 100℃
 初留点： データなし。
 沸点範囲： データなし。
 引火点： 製品 データなし
 発火点： データなし。
 爆発特性： データなし。
 蒸気圧： データなし。
 蒸気密度： データなし。
 比重： 1.1～1.3

溶解性 データなし。

オクタノール／水分配係数：データなし。

分解温度： データなし。

その他のデータ：特になし。

10. 安定性及び反応性

反応性： 情報無し。

安定性： 情報無し。

接触により危険性のある物質：情報無し。

燃焼などによる有害ガス発生：このものは燃えないが塗膜等が燃えた場合、CO等の発生。

その他の反応性情報： 普通の条件での反応性はない。

その他の危険性情報： 特になし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

発がん性

(エチレングリコールモノ-*n*-ブチルエーテル)

IARC-Gr.3： ヒトに対する発がん性については分類できない

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B： ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(エチレングリコールモノ-*n*-ブチルエーテル)

ACGIH-A3(1996)： 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)

ACGIH-A4(1974)： ヒト発がん性因子として分類できない

(エチレングリコール)

ACGIH-A4(1992)： ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992)： ヒト発がん性因子として分類できない

(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)

EU-発がん性カテゴリ3； ヒト発がん性の可能性がある

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

水溶解度

(エチレングリコール)

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)

(エチレングリコールモノ-*n*-ブチルエーテル)

混和する (ICSC, 2003)

(酸化チタン(IV))

溶けない (HSDB, 2004)

(酸化第二スズ)

溶けない (ICSC, 2004)

残留性・分解性

(エチレングリコールモノ-*n*-ブチルエーテル)

BODによる分解度：96% (既存化学物質安全性点検データ)

(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)

BODによる分解度：0% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素)

BCF=14(Check & Review, Japan)

(エチレングリコール)

log Pow=-1.93 (ICSC, 1999)

(エチレングリコールモノ-*n*-ブチルエーテル)

log Pow=0.83 (PHYSPROP Database, 2005)

その他情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

共通： 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

陸上輸送： 法規に該当しない。

海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送： 航空法に定める所に従う。

国連番号： 該当なし。

国連分類： 該当なし。

15. 適用法令

化審法

優先評価化学物質

エチレングリコール、エチレングリコールモノ-*n*-ブチルエーテル

安衛法

第57条の2第1項 通知対象物

エチレングリコール、エチレングリコールモノ-*n*-ブチルエーテル、酸化チタン(IV)、
酸化第二スズ、水酸化鉄(III)

有害物ばく露作業報告対象物質 (平成26年対象・27年報告)

エチレングリコール

化学物質管理促進法	該当しない
消防法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）ホームページG H S 分類結果データベース
 原料メーカーのS D S
 日本塗料工業会編集「G H S 対応M S D S ・ラベル作成ガイドブック」
 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
 国際化学物質安全カード（I C S C）
 製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会（2001年10）
 日本工業規格J I S Z 7253：2012G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
 危険物船舶運送及び貯蔵規則14訂版海文堂
 Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
 Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
 2014 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
 2013 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
 Supplier's data/information

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご利用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。